



2月はなぜ28日しかないの

2月の日にちを2日へらした

紀元前の古代ローマ時代に使われていた「古代ローマ暦」では、1年が3月で始まり、2月で終わっていました。このころ、ユリウス・カエサル（シーザー）という人によって使われるようになったユリウス暦では、1年の平均が365.25日となりました。そこで、365日を30日ある小の月と31日ある大の月にして割りふりました。1日分足りませんが、そこを2月29日としたのです。しかし、この案にはクレームが付きましました。7月は小の月の30日でしたが、シーザーが生まれたのは7月で、30日しかないのはけしからんというわけで、この月は31日としたのです。この1日は、2月の1日をさらにへらして28日としてしまったのです。そうして、割り切れない日を4年に1度集めて、2月を29日として調整したのです。

世界で用いられるまでに300年

このグレゴリオ暦は、約500年前に作られました。最初は、カトリック教徒の国で使われていました。しかし、宗教的な対立や、ややこしい国際関係の問題があったために、なかなか普及せず、ほぼ、全世界で使用されるようになるのに、300年の年月がかかりました。日本で用いられたのは、1873年（明治6年）のことです。

（監修・保岡 孝之）

